

県民のあゆみ

2025

令和7年11月号

山形県広報誌
令和7年11月号

県民のあゆみ

No.648

奇数月1日発行 編集発行 山形県広報誌推進課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>

リサイクル適性
この用紙は、資源物の用紙としてリサイクルできます。

特集1 共生社会の実現に向けた取り組み

P.02

特集2 東北公益文科大学の公立化

P.04

特集3 県職員給与の状況

P.05

奏であう人 P.08 / 潜入レポート！

P.16

高校生ボランティアと山形県リハビリセンターでボッチャを行う皆さん。ボッチャは、赤と青のボールを的となる白いボールにいかにつぶせるかを競うスポーツで、パラリンピック競技の一つです。

表紙
今月の
紙の
Qの



どうなってるの!? やまがたけんけいさつ 山形県警察 こうくうたい 警察航空隊

警察航空隊は、ヘリコプターに乗ってどんな仕事をしているの?

あお きたい 青い機体にオレンジのラインが走る県警ヘリ「がっさん」
そうじゅう 整備から整備まで警察職員が担い、空から安心を届けます。

山形県警察航空隊は、警察ヘリ「がっさん」を使って、空から県内を見守る専門チームです。山で迷った人やケガをした人を探して救助し、事件や事故、災害の際は、上空から状況を確認して安全を守ります。出勤回数は1年に250～300回。安全な飛行を支える操縦士と、毎日の点検に加え、ホイストと呼ばれるつり上げ装置で隊員や要救助者の上げ下ろしも行う航空整備士がタッグを組んで、その任務を行います。「がっさん」は2つのエンジンを持つ力強い機体で、東根市のおいしい山形空港から、酒田市の飛島まで約30分で向かうことができます。警察航空隊の仕事は、まさに「空を飛ぶパトカー」。県民の安全で安心な暮らしを、空の上から確かなチームワークで支え続けます。



まわ 回っているプロペラを上から見ると、赤い二重丸に見えます。「がっさん」の上を飛んでいるほかの機体から見やすくなり、衝突を防ぎます。

救助のときには人が人を安全に運ぶため座席を取り外し、パトロールの時には座席を増やして最大8名まで搭乗し、地域の安全を見守ります。



山形県警察本部 警備部警備第二課
(災害対策室長 兼警備指導官 兼航空隊長)
あさおか だいすけ 朝岡 大輔 警視

県警ヘリ「がっさん」は、その機動力を生かして上空からのパトロールや、逃走している犯人の追跡などを行っています。また、地上からの救出が難しい山岳遭難では、上空からの救助活動を行っています。日々訓練を積み重ね、これからも県民の安全安心を守ります。

